

平成30年度行政事業レビューシート (文部科学省)							
事業名	科学技術人材育成のコンソーシアム構築			担当部局庁	科学技術・学術政策局	作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成31年度	担当課室	人材政策課	人材政策課長 坂本 修一	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定) 第5期科学技術基本計画(平成28年1月閣議決定) 科学技術イノベーション総合戦略2017(平成29年6月閣議決定)		
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	複数の機関が共同した形で科学技術イノベーションの創出を担う研究者を育成する新たなシステムの構築・定着を図ることをもって、若手研究者が能力を発揮できる自立的な研究環境の整備等を支援する						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	科学技術イノベーションの重要な担い手である若手研究者の育成のため、複数の研究機関が連携し形成するコンソーシアムによるモデルとなるプログラムの開発を支援する。【定額補助】						
実施方法	補助						
予算額・執行額 (単位:百万円)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	1,326	1,326	1,326	1,242	
		補正予算	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-		
		予備費等	66	84	63		
		計	1,392	1,410	1,389	1,242	0
	執行額		1,392	1,410	1,389		
	執行率(%)		100%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		105%	106%	105%		
平成30・31年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由			
	科学技術人材育成費補助金	1,242					
	計	1,242	0				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度	
	科学技術人材育成コンソーシアムの若手研究者の一人当たり論文数が全国平均値を上回ること	科学技術人材育成コンソーシアムの若手研究者の一人当たり論文数 ※目標値は平成26年度全国平均値を採用		件/人	2.7	2.8	3.6	-	-	
		件/人	0.2	0.2	0.2	-	-			
		%	100	100	100	-	-			
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	文部科学省調べ									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度	
	科学技術人材育成コンソーシアムの若手研究者の科研費採択率が全国平均値を上回ること	科学技術人材育成コンソーシアムの若手研究者の科研費採択率		%	52.4	34.8	34.7	-	-	
		%	29.7	30.1	29.2	-	-			
		%	100	100	100	-	-			
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	文部科学省調べ									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績	単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込	
	若手研究者育成プログラムの対象者数			人	58	96	124	-	-	
			当初見込み	人	53	86	114	139	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位当たり コスト	単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込		
	事業全体の執行額/若手研究者育成プログラムの対象者数			百万円/件	24	14.7	11.2	8.9		
			計算式	百万円/件	1,392/58	1,410/96	1,389/124	1,242/139		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	8 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化								
	施策	8-1 科学技術イノベーションを担う人材力の強化								
	測定指標	定量的指標		実績値	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度
		40歳未満の大学本務教員数(学校教員統計調査(文部科学省)より)			人	-	43,153	-	-	-
				目標値	人	-	-	-	-	48,140
		定量的指標		実績値	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度
	若手研究者に自立と活躍の機会を与えるための環境整備の状況に関する指数(科学技術の状況に係る総合的意識調査(科学技術・学術政策研究所)より)		-		-	4.1	4	-	-	
				目標値	-	4	4	-	4	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	本事業の若手研究者育成プログラムの開発・実施により若手研究者の能力向上を図り、若手研究者が自立し活躍できる環境を確保する。									
改革項目	分野:	-								
KPI (第一階層)	KPI (第一階層)		実績値	単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
				-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
KPI (第二階層)	KPI (第二階層)		実績値	単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
				-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明															
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	第5期科学技術基本計画(平成28年1月閣議決定)に基づいて国として進めることが必要な施策であり、ニーズの高い事業である。															
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	第5期科学技術基本計画(平成28年1月閣議決定)に基づき実施している施策であり、国全体としての取組が必要となるため、地方自治体に委ねることが出来ない事業である。															
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	第5期科学技術基本計画(平成28年1月閣議決定)に示されている目標の実現のための施策であり、政策目的の達成手段として必要であり優先度の高い事業である。															
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業の実施にあたっては、応募機関からの提案内容を外部有識者委員会等において公正・中立に審査し、競争性の確保を図っている。															
	<table border="1"> <tr> <td>一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>競争性のない随意契約となったものはないか。</td> <td>無</td> </tr> </table>	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	競争性のない随意契約となったものはないか。	無												
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無																
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無																
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	国費の効率的な投入と、事業実施機関における自主経費の支出のバランスに考慮した事業運営を心がけている。															
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	国費の効率的な投入と、事業実施機関における自主経費の支出のバランスに考慮した事業運営を心がけている。															
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-															
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	公募要領により、費目・用途を適切に適切なものに定めている。さらに、額の確定調査において、支出の合理性・用途について適切であることを確認しており、事業の効率性の確保に十分取り組んでいると認められる。															
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-																
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-																
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	国費の効率的な投入と、事業実施機関における自主経費の支出のバランスに考慮した事業運営を心がけている。																
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標を大きく上回る成果実績が上がっている。															
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-															
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みを上回っている。															
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業により開発された育成プログラムは、若手研究者の育成に活用され効果を上げている。															
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	本事業と同じく「科学技術人材育成費補助金」により実施する以下の事業及び「科学技術人材養成等委託費」について、「0205_科学技術に関する人材の養成・活躍促進」に記載している。 【科学技術人材育成費補助金】 ・卓越研究員事業 ・テニュアトラック普及・定着事業 ・ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ ・データ関連人材育成プログラム ・次世代グローバルアントレプレナー育成促進事業 【科学技術人材養成等委託費】 ・科学技術イノベーション創出基盤に関する課題の調査分析 ・理数学生育成プログラム(サイエンス・インカレ) ・URAシステム強化に向けた諸課題に関する調査															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文部科学省</td> <td>0205</td> <td>科学技術に関する人材の養成・活躍促進</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	所管府省名		事業番号	事業名	文部科学省	0205	科学技術に関する人材の養成・活躍促進										
	所管府省名	事業番号		事業名														
	文部科学省	0205		科学技術に関する人材の養成・活躍促進														
点検・改善結果	点検結果		・事業の実施にあたっては、応募機関からの提案内容を外部有識者委員会等において公正・中立に審査し、競争性の確保を図っている。 ・額の確定調査を行い、支出の合理性・用途について適切に確認している。 ・事業は着実に実績を上げている。															
	改善の方向性		本事業により開発された若手研究者育成プログラムの知見を普及・展開し、若手研究者の能力向上を図る。															
外部有識者の所見																		
行政事業レビュー推進チームの所見																		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																		

備考

■ 予備費等欄について、年度内に同一補助金から流用増して執行(レビューシート番号:0205)。

■ 平成29年秋のレビューでの指摘(研究等の担い手の育成)

<指摘内容>

・「科学技術に関する人材の養成・活躍促進のうち卓越研究員事業、研究人材キャリアマネジメント促進事業、科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業、テニュアトラック普及・定着事業」については、この春の公開プロセスを踏まえるとともに、重複を排し、既存施策との関係を整理するため、廃止も含めて抜本的に見直すべきである。

<対応状況>

・「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業」について、平成30年度は既存採択分のみを実施することとし、今後の研究人材の育成・確保の在り方については、科学技術・学術審議会人材委員会・中央教育審議会大学分科会大学院部会合同部会において議論することとした。

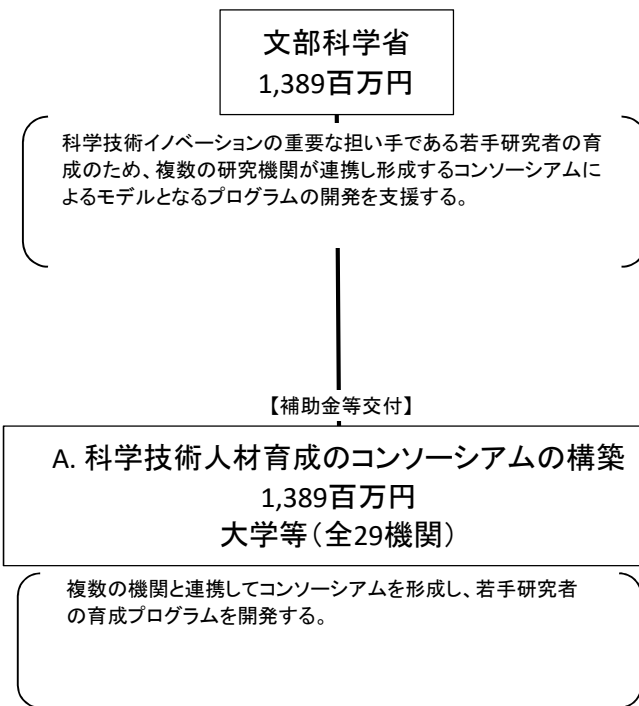
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	167	平成28年度	196		
平成29年度	文部科学省 (0205)						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.国立大学法人京都大学			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業実施費	事業を実施する上で必要となる旅費、消耗品費等	119			
人件費	業務担当職員及び補助者の人件費	96			
設備備品費	設備備品を取得、製造又は効用を増加させるための経費	7			
計		222	計		0

